

平成29年度

当初予算

固財政課 28-6007

当初予算編成方針

地方創生推進・公共施設等適正管理

平成29年度の地方行政の課題は、地方創生の推進と公共施設などの適正管理です。人口の急速な減少と高齢化社会の進展は全国の地方公共団体の共通課題であり、地域の特性や特徴を活かしたまちづくりの推進が求められています。また、高度経済成長期に整備された公共施設や道路・橋りょうなどのインフラ資産が一斉に更新時期を迎えようとしており、多額の維持管理経費が見込まれています。

本市も、この課題に取り組むために、「四国中央市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って地方創生に取り組みるとともに、今年3月に策定しました「四国中央市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設などの適正管理に着手することとしています。

歳入では、市税収入が7年ぶりに増収の見込みとなりましたが、地方交付税の合併に伴う優遇措置の一部縮減などにより、引き続き厳しい状況となりました。

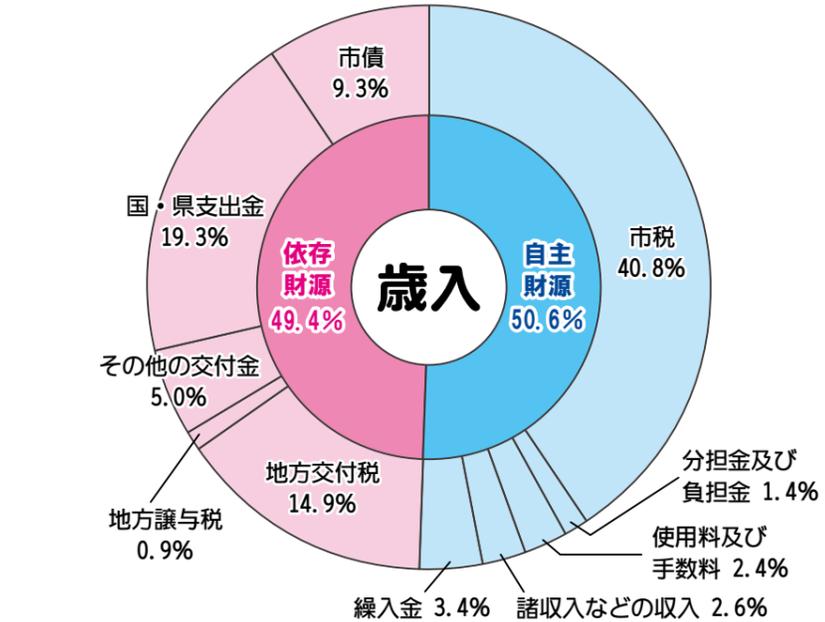
歳出では、防災・減災対策や市民の皆さまの安全・安心確保対策を重点化するなど、市民目線に立ち、きめ細やかな予算編成に努めました。

予算総額 636 億 4,300 万円

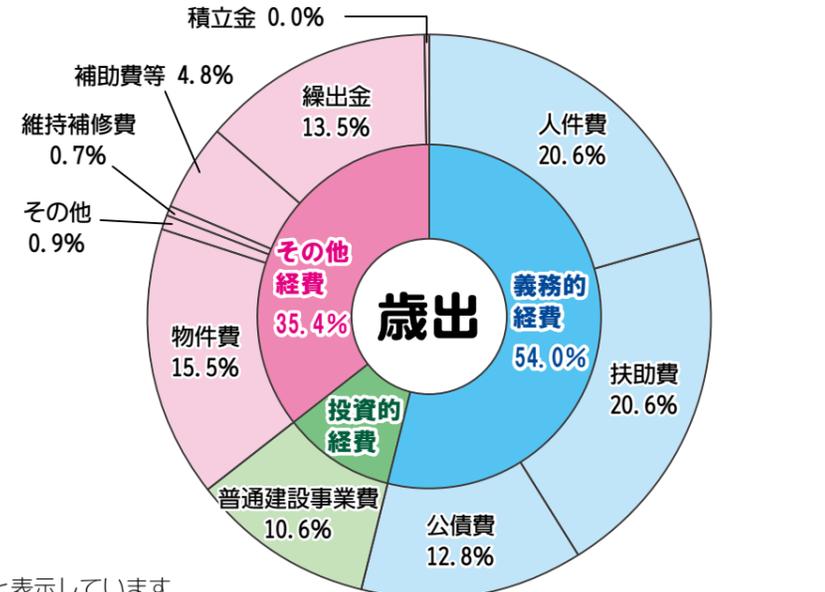
一般会計 359 億 7,000 万円 (前年度比△6.1%) 特別会計 276 億 7,300 万円 (前年度比△6.4%)

一般会計予算 (359 億 7,000 万円) の内訳

歳入 (性質別)	
項目	予算額 (千円)
市税	14,679,900
分担金及び負担金	502,080
使用料及び手数料	848,010
諸収入などの収入	935,142
繰入金	1,222,136
地方交付税	5,370,000
地方譲与税	326,000
その他の交付金	1,796,000
国・県支出金	6,932,932
市債	3,357,800
合計	35,970,000



歳出 (性質別)	
項目	予算額 (千円)
人件費	7,419,548
扶助費	7,409,407
公債費	4,613,011
普通建設事業費	3,805,466
物件費	5,575,676
その他	314,400
維持補修費	248,515
補助費等	1,740,070
繰出金	4,834,208
積立金	9,699
合計	35,970,000



※割合が0.1%に満たない場合は、「0.0%」と表示しています

平成29年度当初予算の主な事業

■地域おこし協力隊事業

〔継続〕約1500万円



新宮地域及び金砂・富郷地区の維持・活性化を図るため、地域外の人材を「地域おこし協力隊」として受け入れ、農林業や行事などの支援に従事しながら地域への移住・定着を進めます。また、地域振興のための取り組みを地域住民と協働・連携して進めます。

■国民体育大会開催事業

〔継続〕約3億5400万円

第72回国民体育大会「愛媛つなぐえひめ国体」の本市開催競技である軟式野球、フエッティング、ラグビーフットボール、空手道、綱引、エアロビックスの出場選手を「おもてなしの心」で温かくお迎えし、円滑に大会運営を行います。

■医師確保対策事業

〔新規〕約300万円

将来、本市の指定医療機関で医師として活躍しようと志す学生に対する奨学金制度を新設し、本市における医師不足の解消と地域医療を守るための取り組みを推進します。

■認定こども園整備事業

〔新規(継続)〕※約1億3900万円

建築から48年が経過している長津保育園の建て替えにあたり、新たに幼保連携型の土居東認定こども園(仮称)として整備を進めます。

■地域産業人材定着事業

〔新規〕約800万円



本市の基幹産業である紙産業のさらなる発展に向け、産官学の連携を強め、UIJTの促進や優秀な人材の確保と育成を推進します。

■川之江地区整備事業

〔継続〕約5億6500万円



かわのえ高原ふるさと館の敷地に新たに収蔵館を建設整備するとともに、ふるさと館のリニューアルを行うことで展示機能を強化し、歴史考古博物館として整備します。また、地区内の道路のバリアフリー化などを行い、地域の回遊機能の強化とにぎわいの再生を図ります。

■住宅耐震化促進リフォーム等補助事業

〔新規〕1500万円

従来の住宅リフォーム助成事業の内容を拡充し、市内の木造住宅の耐震化を促進します。また、住宅の省エネルギー化や長寿命化など、居住性能の向上を図る工事を助成対象とすることにより、住宅の耐震化率の向上と住宅投資への波及効果による地域経済の活性化を図ります。

■川之江文化センター整備事業

〔継続〕約3億1200万円

地域における文化振興の中核的な施設として利用されている同センターについて、耐震改修工事などを実施して施設の長寿命化を図ります。また、川之江庁舎などに設置している機能(市民窓口センター、福祉窓口、保健窓口など)を集約し、多目的に利用できる複合施設として整備します。

■新宮小規模特認校事業

〔新規〕約1500万円



小中一環教育など、これまで培ってきた新宮小中学校の教育の魅力を生かし発展させながら、個人の能力を最大限伸ばせる特色ある教育を推進します。また、新宮地域以外から児童・生徒を受け入れ、新宮小中学校の活性化と新宮地域の地域創生の核となる学校を目指します。

ほかにも次の事業を行います

- 移住者住宅改修支援事業 (約400万円)
- 新庁舎建設事業 (約5,000万円)
- クリーンセンター整備事業 (約1億3,000万円)
- 介護士・保育士・看護師等人材確保事業 (約20万円)
- 臨時福祉給付金給付事業 (約2億7,200万円)
- 老人福祉センター整備事業 (約5,900万円)
- 紙のまちの子育て応援乳児紙おむつ支給事業 (約3,900万円)
- 漁港海岸整備事業 (2億500万円)
- 霧の森整備事業 (約600万円)
- 社会資本整備総合交付金事業 (約4億400万円)
- 市単独道路改良事業 (約3億2,500万円)
- 浸水対策事業 (約6,100万円)
- 塩谷・小山線街路改築事業 (約1億600万円)
- 住宅マスタープラン策定事業 (約800万円)
- 小・中学校施設耐震化事業 (約1億2,100万円)
- 中曽根公民館新築事業 (約1億3,800万円)
- 新宮公民館耐震改修事業 (800万円)
- 図書館整備事業 (約1,800万円)
- 外国青年招致事業 (約3,600万円)
- 機能別消防団事業 (約50万円) など

※〔新規(継続)〕:平成28年度当初予算には計上されていないが、補正予算で計上され実施している事業